

豊田市 PCB 処理 安全監視委員会だより

平成 28 年 3 月
第 35 号

豊田市では、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境を保全するために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

今回は、平成 27 年度 3 回目の安全監視委員会の内容についてお伝えします。

平成 27 年度第 3 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会

平成 28 年 1 月 13 日、JESCO 豊田 PCB 処理事業所において、平成 27 年度 3 回目の安全監視委員会を開催しました。会議には監視委員 12 名のほか、オブザーバーとして、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、豊田市消防本部、豊田労働基準監督署が出席しました。

委員改選後初めての会議であったため、委員長及び副委員長の選任を行い、委員長には松田委員（名古屋大学大学院教授）、副委員長には佐藤委員（逢妻コミュニティー代表）が選出されました。

○議 題

- 1 豊田 PCB 廃棄物処理施設の操業状況報告について
- 2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について
- 3 PCB 廃棄物の期限内処理の早期達成に向けた追加的方策について

(4) 漏洩防止対策実施状況について

JESCO から、過去に発生した漏洩事故を再発させないために、豊田 PCB 処理事業所で実施している対策内容について説明がありました。

また、当該対策内容については、専門的になるため、今後は作業部会にて進捗状況を確認していきます。

1 豊田 PCB 廃棄物処理施設の操業状況報告について

(1) PCB 廃棄物処理実績（1 1 月末時点）

	トランス (台)	コンデンサ類 (台)	PCB 量 (トン)
H27.4~11月	61	4,909	142.8
累計処理数	1,920	44,834	1,687

(2) 東海 4 県の処理進捗率（1 1 月末時点）

	豊田市	愛知県	岐阜県	静岡県	三重県	全体
処理 進捗率 (%)	94.0	91.8	89.7	91.0	89.7	91.1

(3) 処理期限延長に対応するための中・長期保全計画

JESCO から、中・長期保全計画について、その概要と、8 月に開催した作業部会での意見を踏まえて修正した内容について報告がありました。

2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

(1) PCB 廃棄物処理施設への立入調査実施状況

市は、前回の安全監視委員会以降（平成 27 年 7 月 8 日から平成 28 年 1 月 12 日まで）、JESCO 豊田 PCB 処理事業所に計 12 回立入



【委員会の様子】

調査を実施しており、安全に作業が行われていること、排水や排出ガスなどにPCBが含まれていないことを確認したことを報告しました。

(2) 高濃度 PCB 含有機器未処理事業者への対応

市は、前回の安全監視委員会以降、掘り起し調査などにより新たに高濃度 PCB 含有機器を保有していることが判明した4事業者に対し、立入調査を実施し早期処理の啓発を行っていることを報告しました。

今後も、処理が進まない事業者や掘り起し調査によってPCBが使用されていた電気機器を保有している事業者を認知した際は、立入調査を実施し一日も早い処理を促していきます。

(3) 報告・公表基準の変更について

JESCOは、これまで外部へ影響がないトラブルが発生した場合、速やかに地元自治区等へ報告していましたが、今後は、地元などへの情報提供の前に、市や安全監視委員会で原因究明や再発防止対策についてきちんと対応し、その結果を毎月JESCOが発行している「豊田PCB廃棄物処理事業だより」や、安全監視委員会開催後に市が発行している「豊田市PCB処理安全監視委員会だより」によって分かりやすく地元の皆さんに情報提供を行っていきたい旨を説明し、委員の皆様からの了承を得ました。

3 PCB 廃棄物の期限内処理の早期達成に向けた追加的方策について

環境省から、「PCB廃棄物処理推進に関する検討委員会」で検討された、「PCB廃棄物の期限内処理の早期達成に向けた追加的方策について」について報告がありました。

期限内処理をきちんと達成するためには、相当アクセルを踏み対策を行っていく必要があり、環境省、経済産業省、電気保安関係者、都道府県市の連携体制を強化する必要があること、関連する法律の見直しを検討する必要があることなどについて説明がありました。

【委員からの主な質問・意見】

◎豊田PCB廃棄物処理施設の操業状況報告について

質問(委員) 一番問題となっているのは使用している機器だが、JESCOはどの程度把握しているのか。

回答(JESCO) JESCOの登録実績に、使用中の機器は現在入っていない。今後、国も含めてどのように対応していくのか大きな課題と考えている。

回答(環境省) 以前から問題になっている使用中の機器について、台数の把握と、期限内に使用を廃止し処理させるような制度改正が必要ではないかと検討しているところである。

質問(委員) 中・長期保全計画には、保管登録数により設定された処理終了時期が記載されているが、現在使用中の機器の量によって変わる可能性があるのか。

回答(JESCO) まだ調査中の機器、現在使用中の機器の台数によって稼働年限を見直していかなければならないと考えている。現在記載しているのは参考値として記載しているもので、はっきりした段階でまた委員会で報告させていただく。

◎その他

質問(委員) 今回の委員改選で新しく委員になった。まだまだ課題はあるが、豊田処理事業所では、周辺地域の環境への配慮がされており、周辺住民の安全を第一に考え、安全確実にPCBが処理されていることを知るいい機会となった。

意見(委員) 使用中の機器、JESCOに登録がされていない機器がまだまだあると思われる。掘り起し調査で出てくる台数はどのくらいになるかわからないが、相当な機器がでてくるのではないかと感じている。期限までに処理できる方法を、法律においても全ての仕組みのなかで検討してほしい。

◆ 豊田市PCB処理安全監視委員会事務局
豊田市 環境部 環境保全課
電話 0565-34-6628
ファックス 0565-34-6684
e-mail k_hozen@city.toyota.aichi.jp